

## 「新図書館等複合施設「オーテピア」に関する説明会」でのご意見・ご質問に対する考え方について

日時・場所	高知会場 :平成28年11月4日(金) 午後6時30分～ 高知城ホール 2階 大会議室
	四万十会場:平成28年11月5日(土) 午後2時～ 高知はたJA会館 3階 中ホール
	安芸会場 :平成28年11月6日(日) 午後2時～ 高知県安芸総合庁舎 2階 会議室
参加者数	計 89人

※各会場において発言された意見等と意見・質問票で提出された意見等の概要を整理して掲載しています。

## 【高知会場】

No.	分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
1	全体	・オーテピア開館後は、県内外からの多数の来館(利用者、視察)が予想されるが、どのように対応するのか。	・オーテピア全体の問題として認識しています。非常に多くの方が来館されることを想定し、臨時的な増員等も含め、適切に対応できるよう検討します。
2	全体	・駐車場の料金について。無料なのか、有料なのか。 ・駐車場が無料なら、施設来館者以外が駐車するので、有料のほうが良い。	・駐車料金については、有料を前提としていますが、一定時間は無料とする方向で現在検討しています。 ・オーテピア周辺の駐車場の状況や他県の図書館の状況等を踏まえながら、決定したいと考えています。 ・また、周辺駐車場を利用した場合の利用料金についても、併せて検討します。
3	全体	・オーテピア敷地内にカフェはできるのか。	・当初の計画では、エントランスロビーにカフェを整備する予定でしたが、近隣にスターバックスコーヒーやK'sカフェなど、民間の店舗ができたことから、計画を見直し、館内にはカフェを整備しないことに決定しました。 ・1階のエントランスロビーや2階のフリーミーティングスペースでは、飲食ができます。 ・また、ペットボトルや水筒等、倒れてもこぼれないように蓋のできる容器に入った飲み物は、図書館の中に持ち込むことができます。
4	全体	・防災についての説明が少なかった。備蓄されているのは、水と食料だけか。非常時への備えについて、もっと詳しく知りたい。	・防災の備蓄品として、水・食料の他、粉ミルク、紙おむつなど、災害時に必要な物品等を備蓄したいと考えています。なお、詳細については、今後、検討していきます。
5	全体	・月曜日開館を希望する人が多い。月曜日開館はできないのか。	・月曜日の休館も含め、開館日時案については、平成25年1月の「新図書館等の実施設計に関する説明会」等で説明を行っており、現在、月曜日の休館を前提として、開館に向けたさまざまな準備を進めているところです。 ・月曜日を休館日としていますが、ハッピーマンデーなど、月曜日が祝日と重なる場合は開館となります。 ・また、オーテピア高知図書館では、1月1日と8月11日を除く祝日が開館となります。祝日を開館することで、年間10～15日程度開館日が増え、年間で300日程度開館することになります。 ・現在、高知県立図書館・高知市民図書館をはじめ、県内の多くの図書館の休館日が月曜日となっていることから、この休館日を活用し、市町村立図書館等職員も参加する研修会を実施するなど、職員の専門性の向上に努めたり、設備の点検修理なども行っています。 ・なお、開館時間については、火曜日から金曜日が午前9時から午後8時まで、土曜日・日曜日・祝日は午前9時から午後6時までとなります。現在の高知県立図書館・高知市民図書館よりも閉館時刻が1時間遅くなりますので、仕事帰りなどにもご利用いただけるのではないかと考えています。 ・土曜日・日曜日・祝日の開館時間については、前回の住民説明会では「閉館時刻が早すぎる」とのご意見が出されました。ご意見を踏まえ、中心市街地活性化への寄与等の観点から検討した結果、7月には商店街で土曜夜市が開催されるなど連携・協力が見込まれること、日没時間等を考慮し、7月・8月の土曜日(ただし、8月のよさこい祭り期間中の土曜日は除く)は、閉館時刻を午後6時から午後8時までに延長することにいたしました。
6	全体	・月曜日休館には絶対反対。図書館が休館するのなら、図書館以外での対面音訳の保障が必要。	・現在、高知県立図書館と高知点字図書館で異なっている館内整理のための休館日が、オーテピアでは同一日になることから、どちらかの施設が利用できる現状と比べると、対面音訳を利用できる日数は減少します。一方で、祝日を開館することにより、この日数の減少分はほぼ解消されると考えますので、ご理解願います。 ・対面音訳につきましては、対面音訳室を、オーテピア高知図書館に3室、声と点字の図書館に3室(他に相談室2室も利用可)設け、全体として現在の5室から6室に増設されるほか、利用時間の拡大や対面音訳ボランティアの増員など、サービス体制の充実も図っていきたいと考えています。

7	全体	・資料増やサービスの充実により、費用も大幅増になると思うが、県民・市民、企業等に寄付を呼びかけることはないか。現在、県や市に寄付をしても、用途や対象を限定することはないと思われるが、目的別の寄付はできないか。	・現在のところ、具体的に寄付を呼びかけることについては予定していませんが、寄付の申し出があった場合は、その都度、寄付の趣旨に沿った対応等について検討します。
8	全体	・「中心市街地活性化の核となる施設」としての役割を果たせるよう、常に意識しておいてもらいたい。	・今回のサービス計画において、「中心市街地活性化への寄与」を15の具体的なサービス・取組の中の一つに位置づけ、オーテピア高知図書館の持つ、図書館資料や情報、司書の専門性、利用しやすい場所といった資源を活用しながら取り組んでいくことにしています。 ・地元商店街や周辺の文化施設等と連携・協力したイベントの開催等、さまざまな取組を行うことにより、中心市街地の活性化に寄与したいと考えています。
9	全体	・中心市街地に立地されることでアクセスが便利になると、仮眠や居座りなど、本来の目的外利用が懸念されるが、何か対策はあるか。	・図書館においては、多くの方に利用いただけるよう、横になって寝ることができないタイプの椅子やベンチなどを設置することにしています。 ・プラネタリウムにおいては、上映ごとに座席の入れ替えを行うこととしています。
10	全体	・「4施設一体の建物が四国一」はおかしい。建物の大きさを比較するのであれば、1施設で比較するべきである。	・オーテピア高知図書館の延床面積は約17,700平方メートルで、図書館として四国一の規模となります。
11	図書館 点字図書館	視覚障害、上下肢障害の家族がいる。障害者が自立して生きていくために「知の拠点」である図書館、点字図書館は大事な所だと思う。ソフト・ハード面ともすばらしい図書館を願う。視覚障害情報支援機器等の指導などもお願いしたい。	・障害のある方が利用しやすいよう、オーテピア高知図書館と声と点字の図書館とが連携・協力し、障害者サービスの充実を図ります。 ・声と点字の図書館では、視覚障害情報支援機器等の講習、指導等を実施します。

#### 【四万十会場】

No.	分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
1	全体	・大型バスで来館した場合、バスを駐車できるスペースはあるか。	・建物東側の敷地内に大型バス2台分の駐車スペースを設けています。

#### 【安芸会場】

No.	分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
1	全体	・図書館に喫茶スペースがほしいという声は出なかったか。	高知会場のNo.3と重複
2	図書館 点字図書館	・健常者も録音図書を利用できるか。	・声と点字の図書館にある録音図書の利用対象者は、「文字情報の利用が困難な方」に限定されており、健常者にはご利用いただくことができません。 ・オーテピア高知図書館にある朗読CD等の録音資料については、一般の方にもご利用いただけます。

#### ○その他のご意見等

- ・これ以上、オープンが延期されないことを望む。

## 【高知会場】

No.	分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
1	図書館 (サービス計画)	・説明資料において、図書館のカタカナ専門用語は極力少なくして、平易な日本語で表記してほしい。	・「レファレンス・サービス」等の用語は一般的にも使われているので使用しています。図書館内のサインや案内パンフレット等については、一般の利用者にもわかりやすい表現や説明を心がけます。
2	図書館 (サービス計画)	・「高知ゆかりの資料」の一部として、「高知出身の人物別資料」コーナーも設置してはどうか。	・高知出身の人物別資料は、伝記の分類番号に分類されますので、高知県関連資料としてまとめて本棚に並べられます。 ・コーナーの設置については、館全体の配架を調整するなかで検討したいと考えています。
3	図書館 (サービス計画)	・「レファレンス・サービス」の内容や、そのようなサービスが受けられることをもっと積極的にPRしてほしい。	・「図書館でレファレンス・サービスが受けられる」こと自体が知られていないことが課題であると考えており、積極的にPRしていきます。
4	図書館 (サービス計画)	・「ビジネス・農業・産業支援サービス」は、単なる課題解決ではなく、起業に向けた支援までを業務として実施してほしい。また、図書館内部の規程にそのことを明記してほしい。	・図書館の強みであるさまざまな課題解決の支援に資する資料・情報を提供することで、専門機関と連携しながら、起業をはじめ、仕事に関するさまざまな課題解決の支援を行っていきたくと考えています。 ・図書館の資料と情報だけでは解決が難しい課題については、相談内容に応じた専門機関等の相談窓口を紹介するなど、各機関との連携を図っていきます。
5	図書館 (サービス計画)	・ビジネス支援において連携する専門機関としては、具体的にどのような機関を考えているのか。	・現在連携した取組を行っている、高知県産業振興センターや高知商工会議所などの専門機関に加え、「知の拠点としての新図書館サービス検討委員会」や分科会に参加していただいた専門機関と相談しながら、今後サービス・取組を進めていく中で、必要に応じて連携・協力先を広げてきたいと考えています。
6	図書館 (サービス計画)	・ココブラと連携して、それぞれのイベントや講座を積極的に紹介してほしい。 ・チラシを置くだけでなく、開催予定が一目で分かるような相互案内システムをつくってほしい。	・ココブラとは現在も連携して取組を行っていますが、今後もそれぞれのイベントや講座を積極的にPRしていきます。 ・イベント等の相互案内については、ココブラをはじめさまざまな連携先と連携、相談しながら、お互いに負担とならない効率的な方法を検討します。
7	図書館 (サービス計画)	・赤ちゃん絵本コーナーの近くに、子育て関係の本があると手に取りやすいが、子育て関係の本は児童コーナーと成人(一般図書)コーナーのどちらに置くのか。	・子育て支援、少子化対策は、社会全体にとって大きな課題ですので、図書館でも子育て支援コーナーの設置を検討しています。設置場所には、児童コーナーを考えており、今後詳細を検討していきますが、子育て情報の発信も含め、利用しやすいコーナー展開を心がけます。
8	図書館 (サービス計画)	・児童図書に関するレファレンスも、レファレンスサービス専用カウンターで受けられますか。 ・レファレンスサービス専用カウンターに、児童サービスに対応できる司書は配置されますか。	・児童図書に関するレファレンスは、原則として、2階の児童コーナーのカウンターでお受けします。 ・児童サービスの担当司書については、児童コーナーのカウンターに配置することとしています。
9	図書館 (サービス計画)	・児童図書は全点購入し展示されるそうですが、その展示ブースには専従の司書が配置されますか。	・児童サービス担当司書が兼務で担当することとしています。
10	図書館 (サービス計画)	・児童サービスにおいて、現在何か実施している講座はありますか。	・子どもの読書活動の推進のため、保護者や図書館職員、ボランティアなどを対象とした「ストーリーテリング勉強会」や「子どもの本の読書会」、「ブックトーク勉強会」等を開催しています。

11	図書館 (サービス計画)	・2階フロアに、「親子コーナー・調べ学習スペース」とあるが、子どもが調べ学習をしている間、そこに親子でいてもよいのか。また、このスペースには本は置いていないのか。	・親子コーナー・調べ学習スペースは、図書館での子ども向けイベントなどの開催時や図書館見学の繁忙期にはご利用いただけない場合がありますが、それ以外の時には、児童の学習や親子での読み聞かせにご利用いただけます。
12	図書館 (サービス計画)	・若者を育てる拠点の一つとして、学生が企画・運営等にかかわることのできる機会があると良い。	・学生をボランティアなどとして受け入れて、ティーンズ・サービスのPR媒体の編集や読み聞かせ、企画展示のアイデア出しなど、図書館サービスの企画・運営等に関わっていただけるよう、中学・高校・大学等と連携しながら検討していきます。
13	図書館 (サービス計画)	・中・高・大学生が国内外の良質な論文に学ぶ機会を保障してもらいたい。各大学等との連携の予定はあるのか。	・新聞・雑誌は、2,000タイトル以上を収集することを目標としており、主要な学術誌等は購入していきたいと考えています。 ・大学との連携については、現在、高知県立図書館では、県内の各大学と相互協力協定を締結し、一部を除き互いの蔵書を貸し借りできるようになっています。 ・電子ジャーナル以外については、大学図書館の蔵書の中には、学外者でも見たり調べたりできるものもあるので、重複がないように蔵書の調整をすることで、全体として利用できるタイトル数が増えるようにしたいと考えています。
14	図書館 (サービス計画)	・電子書籍や外国語書籍について、選定の方法や図書館に受け入れる冊数など、具体的に決まっていたら教えてほしい。	・電子書籍サービスは、紙の資料では提供しにくいもの(問題集等)などを中心に提供していきたいと考えています。 ・外国語書籍については、高知県にお住まいの外国語使用者に役立つものを第一とし、外国語学習書や外国語で書かれた専門書等についても、優先順位を付けながら購入したいと考えています。 ・冊数については、現在のところ、具体的には決まっていません。
15	図書館 (サービス計画)	・「県立図書館の図書は、県民全てが利用できる」というのなら、所蔵が1冊しかなく館内閲覧となっている図書であっても、市町村立図書館等から要請があれば、一定の利用条件のもと、貸し出すべきではないか。	・館内閲覧となっている資料には、貴重資料、辞書や事典等があります。 ・貴重資料(高知関係の古文書等)については、資料的に価値が高く、希少性が高い資料であるため、管理・保存上の観点から貸出しを行っていません。辞書や事典等については、館内利用としていますが、類書等の状況によっては市町村立図書館等への貸出しを行っています。
16	図書館 (サービス計画)	・県立図書館の所蔵する調べ学習用図書について、市民図書館が行う高知市内の学校支援に貸し出されて、市町村立図書館に貸し出す図書が少なくなるということはないのか。	・オーテピア高知図書館では、高知県立図書館と高知市民図書館が役割を分担し、高知市以外の市町村立図書館等へ貸し出す図書は県立図書館が、高知市立の小中学校等や高知市内の私立小中学校の支援に必要な図書は高知市民図書館が対応することにしています。
17	図書館 (サービス計画)	・計画の33ページ、「インターネット利用環境の提供」の記載に、『自前の』とあるが、『利用者自身の』などと表記するべきではないか。	・ご意見を踏まえ、修正しました。
18	図書館 (サービス計画)	・PDCAサイクルによる進捗管理は公開されるのか(「図書館協議会などによる点検・評価」とは別の視点であり重要である)。	・図書館協議会や図書館の専門家等の第三者機関による定期的な点検・評価だけでなく、高知県立図書館・高知市民図書館において、チェックシートなどを用いてPDCAサイクルを回しながら、自己点検・評価による計画の進捗管理をしっかりと行います。 ・点検・評価の結果及び進捗状況については、ホームページや図書館広報誌等により公表することとしています。
19	図書館 (サービス計画)	・開館日時について、『平日』と書くと、通常は月曜日から金曜日なので、『平日』ではなく『火～金』と表記するべきではないか。	・ご意見を踏まえ、修正しました。

20	図書館 (施設・設備)	・個人が持ち込んだパソコンを使用できる場所はあるのか。	・オーテピア高知図書館では、利用者自身が持ち込んだパソコンやタブレット等を使用できるよう、WiFi環境を整え、また、閲覧机周りやグループ室等にコンセントを用意するなど、インターネット閲覧・接続環境に配慮します。
21	図書館 (施設・設備)	・WiFi接続環境について、持ち込みの対応機器への電源提供の考え方を知りたい。	
22	図書館 (運営)	・素晴らしい内容の図書館になりそうで楽しみだが、この内容を全部できるだけの職員の確保は大丈夫か。 ・現在の職員数と、新施設において想定している職員数(職員数をどれだけ増員するのか)を教えてください。 ・司書の採用計画及び条件について教えてください。	・オーテピア高知図書館における人員体制の詳細は決まっていますが、大変大きな図書館であることから、100名を越すスタッフが必要だと考えています。開館日の増加、開館時間の延長、課題解決支援サービスの拡充などに対応し、円滑に図書館サービスが実施できる体制について、現在、協議をしているところです。 ・司書に関しては、高知市民図書館では、平成25年度に2名採用、平成26年度に3名採用、平成27年度に2名採用、平成28年度に1名採用、現在も2名程度で司書採用試験を実施しており、図書館職員に占める専門職である司書の割合を高めているところです。また、高知県立図書館におきましても、平成23年度から、新図書館に向けて司書を採用し、増員しています。
23	図書館 (運営)	・意欲的なサービス計画で、開館が楽しみ。図書館全体の費用、資料費、人件費、職員数は、これまでと比較してどうなるか。コスト低減策を考えていかないと、現状のような予算が確保できるか心配。	・オーテピア高知図書館の費用、資料費、人件費、職員数に関しては検討中です。 ・施設規模は、高知県立図書館及び高知市民図書館を合わせたものより大きく、また、利用者サービスの拡充も図っていくことから、費用等の増加が見込まれます。 ・コスト低減に関しては、開館以降も不断に業務の点検を行い、サービス水準を確保しつつ、効率的かつ効果的な予算の執行に努めていきます。
24	図書館 (運営)	・サービス検討委員会や協議会等、県民・市民から委員を公募する予定はあるか。県民・市民が参画できる場は保障されているか。	・現在のところ、委員を公募する予定はありません。 ・オーテピア高知図書館は、高知県と高知市が共同で運営する図書館であることから、図書館協議会に関しましては、高知県立図書館、高知市民図書館で同一の10名の方にそれぞれ委員を委嘱し、今年の9月に双方の協議会を同時に開催しました。委員は、学識経験者のほか、青少年活動関係者、障害者、児童関係者、保育関係者など、利用者の視点に立って幅広くご意見をいただけるよう、さまざまな分野の方に就任いただいています。
25	図書館 (運営)	・ボランティアの募集はするのか。 ・図書館の簡易な作業の他、今後充実していく課題解決支援サービスに不可欠な知識を持った人にボランティアとして参加を呼びかけるなどとしてはどうか。	・さまざまな図書館サービスを実施するためには、ボランティアの皆さんの活動は、大変重要だと思っています。詳細は決まっていますが、図書館サービスに関わるボランティアを募集したいと考えています。

【四十万会場】 該当質問なし

No.	分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
1			

【安芸会場】

No.	分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
1	図書館 (サービス計画)	・第2章-2基本方針に「⑤進化型図書館」とあるが、どのようなことを想定しているのか。具体的に知りたい。	・「進化型図書館」とは、社会状況や図書館へのニーズの変化等に応じて、効果的なサービスが提供できるよう変化していく図書館ということの意味しています。例えば、ICTの進展にあわせ、図書館のサービスをはじめ、図書館自体も柔軟に変えていくなどを想定しています。
2	図書館 (サービス計画)	・科学館に集まる子どもたちが見るような本は、図書館にもコーナーができるのか。	・児童コーナーでは、自然科学に関係する図書の充実を図っており、高知みらい科学館のイベントなどにあわせて企画展示を行っていきたくと考えています。
3	図書館 (サービス計画)	・郡部の自宅から電話で貸出依頼をすることは可能か。可能な場合、最寄りの図書館へ図書が届くのか。またその場合の貸出期間はどのくらいなのか。	・ご自宅の近くの市町村立図書館等でお申し込みいただくと、市町村立図書館等を通じて、オーテピア高知図書館の蔵書をご利用いただくことができます。 ・貸出しの期間は、各図書館によって異なりますので、お近くの市町村立図書館等にお問合せください。
4	図書館 (サービス)	・現在の利用登録者数と目標の利用登録者数は分かるか。	・平成28年10月末時点の利用登録者数は、県立図書館と市民図書館の登録者合わせて約7万2千人です。図書館サービスを積極的にPRし、より多くの方にオーテピア高知図書館を利用していただきたいと考えています。
5	図書館 (施設・設備)	・書架の高さはどのくらいか。背の低い人でも手が届く高さか。	・蔵書をできるだけ多く本棚に並べられるよう、書架は一部を除き、180センチ以上の高さとなっています。 ・届かない場合には、ステップをご利用いただくか、職員が代わってお取りしますので、お気軽にお知らせください。
6	図書館 (施設・設備)	・床には絨毯があるのか。声の響き方はどうか。	・開架の天井には吸音板を使用し、床にはタイル・カーペット等を敷設し、声の響きを抑える構造となっています。
7	図書館 (施設運用)	・静寂読書室以外では、会話ができる空間となるのか。	・他の利用者の妨げにならない程度の音でしたら、会話をしながらの読書や調べ物等ができるようにしています。
8	図書館 (運営)	・司書やその他の職員数は何人ぐらいか。	高知会場No.20と重複

○その他のご意見等

・合築によるメリットを大いに期待している。今回の説明により、そのための努力がされていると感じた。